

2014

2月号

念仏のこころに生きる生活を

高岡教区

教区報

「教区仏教婦人会新年会に百十一名が参加

～五月十八日には中部・北陸仏教婦人会を開催～

教区仏教婦人会連盟の新春を迎えての新年会が一月二十八日(火)、高岡ニューオータニホテルを会場にして催された。教区役職者の方々を来賓にお招きし、仏教婦人会会員を合わせ百十一名が参加して親睦を深めた。

新年会の宴会上先立って宮川善裕教務所長から新春法話があり、マラソンの高橋尚子選手がシドニーオリンピックで一着でゴールしウイニングランで競技場を一周し戻って来たときのこと、それまで笑顔ではしっていた高橋選手が急に暗い表情になり、誰かを捜している様子が見て取れた。それは、小出監督の姿が見つからなかったからだ。

それは、あたかも一人ぼっちの子供が泣きながらお母さんを必死に探している姿に重なって見えた。後で高橋選手は、『私は監督に送り出されて走っています。監督のもとに帰ってきて初めてレースは終わるんです。私は監督からよく頑張ったご苦労さんと言葉を聞きたいために走り続けているんです。』と話されていた。『よく頑張ったね』と励まし、応援してくれる方がいる

ので力強く生きていきます。親鸞聖人

は『難思の弘誓は難渡海を度する大舟』と説かれています。人生を歩んでいく中には様々な困難があるが、そこに私を励まし応援してくれる世界に触れたときに困難な人生を力強く歩んでいくことができるのではないかと、お念仏に込められた願いについて話された。

新年会では、最初に石野順子仏教婦人会連盟委員長が挨拶。続いて来賓を代表して公文名眞宗会議員から、「宗門の抱える問題



として何事にも内向きであるように感じられる。仏教婦人会の活動が内向きではなく、内外に開かれたものにしていくべき」との挨拶があった。続いて、桃井千秋教区会議長から、今年、当連盟担当で開催される中部・北陸仏教婦人会大会」が盛会に開催されるよう念じて乾杯の発声を頂き宴会へと移った。

宴会のアトラクションでは、渋川流剣詩舞道剣楓会の千田和月さんの踊りと、東日本大震災の応援歌「花はさく」と、大谷範子仏教連盟総裁様が作詞された「お名前よべば」の曲に合わせ執行部全員が家で練習を重ねてきた踊りが披露されるなど、楽しいひと時を過ごした。余興ではビンゴゲームが行われ、ビンゴになった人から順に会場の前に並べられた品物の中から一つを新年会のお土産として選んでもらった。

中締め挨拶では、北鹿渡文照組長会長から仏教婦人会連盟への激励の言葉をいただき、最後に元井和代副委員長が来賓並びに参加者への謝辞を述べて閉会となった。



まことの保育実践をめざして研修

〈保育連盟「まことの保育研修会」〉

去る一月二五日、教区保育連盟（中西智浩理事長）の「まことの保育研修会」が開催され、加盟各園から八〇名を超える教員・保育士が参加。年二回行われるこの研修会のうち、今回は二回目。開会式での仏参は各園が順番に担当しており、今回は戸出西部保育園（砺波組安詳寺）のみなさんが献灯・献花などを行った。（写真）

以前は専門的な内容の研修会も実施してきたが、「専門的な研修は自治体や民間の連盟でも行われている。まことの保育の実践者として自らが仏教者・念仏者であるということが基本。仏教・浄土真宗のわかりやすい

お話が聞きたい。」との要望を受けて、近年はわかりやすい「法話」を聞くことを中心に実施している。今回の講師は氷見西組長福寺住職で布教使の日南



浄円師で、「仏のまなこ 私のまなこ」と題

した「法話を聞いた。」

日南講師は、「お釈迦様は「いのち」全体

を「生死」と示された。私たちは自分の都合でいのちを見ているから、若くて健康であるいのちと老いて病にあるいのちに線を引いてしまいが、仏様は無分別智といって、生まれてきたいのちに線引きをしない。仏様から見れば、若くて健康ないのちも百点、年老いて病になるいのちも百点。」と、「いのち」を平等に見る仏様のまなざしについて話された。

教区保育連盟では、今後まことの保育実践者養成に向けて取り組んでいく方針。

公開講座のお知らせ

ピハ-ラ高岡主催 第2回ピハ-ラ研修会

2月25日(火)午後1時半より

西本願寺高岡会館礼拝堂で開催

テーマ 「いのちの関係性を考える」

～ 支えあう人間関係に学ぶ～

講師 ^{あかつ} 吾勝 ^{つねゆき} 常行 氏（龍谷大学教授）

詳細につきましては同封のちらしを参照ください、公開講座ですので、皆様お誘いあわせの上ご参加くださいますようお願い申し上げます。

青年布教使による研修会開催

去る一月二八日、高岡教区布教団による青年布教使研修会が開催され八名の布教団員が自己研鑽の機会として研修を行った。これは、例年、一月に開催される第二連区青年布教使研修会に向けた事前研修会として実施されるもので、今回は石川教区で設定された「ご縁づくりしてますか？」というテーマについて、二名の意見発表を元に意見交換を行い課題共有を図った。意見発表では「宗祖にとつて『縁』とは『光明』であり『教え』、『ご縁づくり』という発想は『僧侶』や『布教使』中心のものと考え方であり傲慢なのではないか？」「布教の中身や布教使の有り様を抜きにして、伝わらないことを社会や方法論、テクニクの問題にしているのか？」といった問題提起がなされた。それを受けての意見交換では「悲しみを縁として」とか「悲しみに寄り添う」という言葉にも押しつけがましさを感ずる「布教が社会の中でどれだけ認められるか、教団の公益性を高めよう」といった意識がそこに表れているのではないかとといった意見が交わされた。教区布教団では、今後も連区行事を含め様々な機会を通じて布教使の育成を図りたいとしている。

御同朋の社会をめざす運動のコーナー

「御同朋の社会をめざす運動」第二回中央委員会報告

去る一月二十二日に開催され、全国三十二教区からを含む委員出席のもと第二回中央委員会が開催されました。

最初に報告事項として今年度、全教区にて開催された「公聴会」についての報告がありました。各教区からの意見を集約した総括書に基づき、次期計画の策定に取り組むとの重点プロジェクト推進室からの説明でした。また、各教区の重点プロジェクトの推進状況として連区や教区、組で開催された研修内容と講師派遣等についての説明で報告事項は終了しました。

次に協議事項の中で、社会部（人権担当）より、「差別事件糾明のための方途」の見直し、並びに「過去帳取扱い基準」についての見直しを同和教育振興会に依頼して進めており、宗報三月号・四月号にわたり解説を掲載する旨、また、この見直しの件については、安芸教区で惹起した「過去帳又はこれに類する帳簿の開示問題」から起因している、との説明がありました。この説明について委員から「これまで二回実施された過去帳調査からの課題や部落解放同盟による点検糾弾会での回答書で約束されたこととの取り組み状況はどうなっているのか」という質問があり、社会部長からは把握できていないという回答と総務からは、実践運動のあゆみが始まっているので問題はないというものでした。

また二〇一四（平成二十六）年度は重点プロジェクトのさらなる展開と総括から、「実践事例集」の発行や「葬儀」に関する冊子の作成をするともに、次期「基本計画」の策定の作業に取りかかるとのことでした。

しかし、委員からは『「基幹運動」の継続性が見えない』、「運動が展開された歴史が見える基本計画にならないのか？」等、これまでの運動の課題を根底に据えることを要望する意見が相次いで出されました。

さらに意見具申について、東京・高岡・福岡・沖縄の四教区から提出されました。特に福岡教区からは、基幹運動の流れを踏まえてほしいこと、「意見具申」がこれまでの「建議」と同じ位置づけ（システム）となるように、との意見が出されました。しかし、総務からは「法規が改定された」との話があるだけで、委員が納得する様な回答を得ることは出来ませんでした。

今回、高岡教区からは、教区・組の委員の任期制度（一期二年で連続三期以上の再任は不可）の撤廃と、相談員・専従員制度の復活について意見具申しました。任期制度については各組の現状を鑑み、前向きに検討したいとの回答は得ましたが、相談員・専従員制度については、「考えていない」との回答でした。

東京教区からは、同教区が発刊した小冊子「自死に向き合う」今、私にできること」の宗派版の作成と普及について、沖縄宗務事務所からは、沖縄差別からの解放をめざす旨を実践運動の取り組みに加えることへの要望として意見具申がされました。委員会終了後、沖縄の北村委員を講師とする平和学習会が開催され、全日程が終了しました。

【教区実践運動委員会副委員長 山名 一徳】

これからの日程 (2 / 2 0 ~ 3 / 2 0)

| | | |
|----|--|-------------------------------|
| 2月 | | 第2連区職員研修協議会 (~ 2 1 ・ 岐阜) |
| 20 | | |
| 21 | | |
| 22 | 中仏生のつどい さくら保育園涅槃会 | |
| 23 | 仏壮ボウリング大会 氷見東組仏壮設立総会 | |
| 24 | ヤスクニ問題専門委員会 | 矯正教化支部打合せ会 (~ 2 5 ・ 福井) |
| 25 | ピハラー高岡研修会 | |
| 26 | 長寿苑ピハラー活動 | |
| 27 | 教区コーラス練習日 寺女役員会 寺青声明サークル | 定期宗会 (本山) |
| 28 | 組主幹協議会 | |
| 3月 | | |
| 1 | 門徒推進員研修協議会 | |
| 4 | 第3B門徒総代研修会 | |
| 5 | 第1B門徒総代研修会 災害活動救援専門委員会 雨晴苑ピハラー活動 | |
| 6 | 仏壮理事会 仏婦常任委員会 | |
| 7 | 第2B門徒総代研修会 | |
| 8 | 中仏生のつどい 連研履修者協議会 | |
| 11 | 東日本大震災追悼法要 | |
| 13 | 第4B門徒総代研修会 | |
| 14 | 講社連盟役員会 教学研究室企画会議 | |
| 15 | 中仏生のつどい | |
| 18 | 聖典セミナー (1 0 回目) 教区コーラス練習日 | |
| 20 | 財団理事・評議員会 | |



ラジオ放送 ~ 西本願寺の時間 ~

『みほとけとともに』

北日本放送 (K N B) ・ 7 3 8 k H z .
毎週土曜日 (本山制作) 午前 6:15 ~ 6:25
第2・4日曜日 (富山・高岡制作) 午前 6:00 ~ 6:10

2 / 15 (土) : 福間 義朝 氏 (広島県・教尊寺)

「 い ま こ こ に 」

2 / 22 (土) : 荻 隆宣 氏 (山口県・浄土寺)

「 凡 夫 と 知 ら さ れ る 世 界 」

2 / 23 (日) : 河合宣彰氏 (高岡教区・川上組)

3 / 1 (土) : 荻 隆宣 氏 (山口県・浄土寺)

「 め ぐ み を わ け あ う 」

3 / 8 (土) : 筑波 敬道 氏 (山口県・教法寺)

「 お 慈 悲 の 温 も り 」

3 / 9 (日) : 未 定 (富山教区)

3 / 15 (土) : 筑波 敬道 氏 (山口県・教法寺)

「 あ な た の お か げ で ... 」

【西本願寺高岡会館3月の常例法座】

東日本大震災追悼法要のため3月の常例法座はお休みになります。

尚、追悼法要につきましては、別紙チラシを参照ください。

お知らせ

『法輪せんべい』販売について

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかがでしょうか。お申し込み先は下記のとおり。

FAX. でのお申し込みも承ります。どうぞご利用下さい。

一袋二枚入りで価格は次の通り

一袋二枚入りで価格は次の通り

・特大箱 (175 袋) 7 , 0 0 0 円

・大 箱 (45 袋) 2 , 0 0 0 円

・小 箱 (16 袋) 9 0 0 円

お申込み先は・・・〒933 - 0003 高岡市能町1298

耳浦 康真 (本誓寺) Tel. & Fax. (0766) 23 - 9822

編集後記

「人の世に熱あれ、人間に光りあれ」という言葉で知られる「水平社宣言」を、「世界記憶遺産」に登録しようと、奈良県の水平社博物館などが申請手続きを進めているようです。

「世界記憶遺産」とは、貴重な史料を後世に伝えるために、一九九二年に創設されたユネスコが主催する事業のひとつだそうです。

基幹運動 (実践運動) に取り組むまでは、なんとなく聞いた程度であった「水平社宣言」ですが、登録がなされることにより話題になり、今より多くの方々に知ってもらえたらと思います。